

第 2 次健康日本 2 1 安城計画における地域意見交換会について

1 目的

- (1) 計画の基本方針「健康を社会で支えよう」地域における健康づくり活動の活性化の位置づけ（今回は成人期を中心とする）
- (2) データヘルス推進事業での分析結果から、地区の健康課題をその地域に発信し、地域での活動につなげてもらう
- (3) 地区制の検討

2 実施内容

健康に関する基礎調査結果（2 1 計画のアンケート）及びデータヘルス推進事業でのデータ（医療、健診、介護等）をもとに各中学校区別にデータ分析を行い地域での健康課題を把握する。その分析結果を地域で活動する市民に情報を発信し、地域での活動に活かしてもらう。

3 実施方法

- (1) 1 0 月 1 2 日に助言者より「地域診断（注）」の講義と地域意見交換会の説明
- (2) 中学校区別（各担当者 2 名）にデータ分析をすすめる
- (3) 1 2 月 2 5 日に中間報告会（内部での情報共有と助言者からのアドバイス）を実施
- (4) 3 月、地域意見交換会の開催予定（中学校区別）
- (5) 地域意見交換会当日にアンケートにて意見聴取

4 地域意見交換会の対象

町内会・老人クラブ・子供会の各役員、民生委員等（多い地区で 3 0 人程度）

（注）「地域診断」とは、公衆衛生を担う専門家が、地区活動を通して地域課題を明らかにし、地区活動を通して個人のケアにとどまらず、集団あるいは地域を対象にケアを行い、地域課題を軽減、解消していく一連のプロセス（地域診断ガイドライン：日本公衆衛生協会，2012）